

シラバス作成用資料

① 学習の到達目標と評価の観点

教科名（情報） 科目 「社会と情報」	単位数	学科・学年・学級	使用教科書と補助教材
	2単位	〇〇科 〇学年	高等学校「社会情報」教科書 開隆堂出版 「社会と情報」サブノート 開隆堂出版
学習の到達目標	情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。		
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> 情報の特徴と情報化が社会に果たす役割や及ぼす影響に関心を持ち、身のまわりの問題を解決するために、情報機器や情報通信ネットワークを活用し、情報社会に積極的に参画しようとする。＜関心・意欲・態度＞ 情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響について、思考を深め、適切に判断し表現している。＜思考・判断・表現＞ 情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための技能を身につけ、効果的にコミュニケーションを行っている。＜技能＞ 情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための知識を身につけ、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響を理解している。＜知識・理解＞ 		

② 学習計画及び評価方法等

月	単元	学習のねらい	学習のポイント、使用教材等
4月	1章 社会と情報 1節 「情報」の学び 2節 新しい時代に生きるわたしたち	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校までの「情報」学びをふり返り、高等学校の「情報」では何を学んでいくのかを理解し、これからの見通しを持つ。 ○情報化の進展による社会や生活の変化を知り、情報社会で必要となる能力や態度について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの「情報」の学びをふり返るとともに、情報社会で求められる力について理解し、これからの学びに対する関心を高める。 ・情報が果たす役割や社会的な価値を知ることで、これからの情報社会で必要な資質を押さえる。 ＜コンピュータ、インターネットの接続環境＞
この章の評価	評価の観点及び内容		評価方法（具体例）
	情報化の進展に関心を持ち、主体的に情報社会へ参画しようとしている。＜関心・意欲・態度＞		授業態度
	望ましい情報共有のあり方や情報社会での必要な能力や態度を考える。＜思考・判断・表現＞		授業態度 授業の記録（サブノートなど）
	情報化の進展が生活に影響を及ぼしていることを理解し、情報社会に参画するうえで必要な能力や態度を理解している。＜知識・理解＞		ペーパーテスト
月	単元	学習のねらい	学習のポイント、使用教材等
5月 6月	2章 情報の活用と表現 1節 情報とメディアの特徴 2節 情報のデジタル化 3節 情報の表現と伝達	<ul style="list-style-type: none"> ○情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用できるようになるために、情報の特徴やメディアの意味を理解する。 ○情報をデジタル化するときの基本的な知識・技術と、デジタル化された情報の特徴を理解する。 ○情報をデジタル化する際に利用する機器の特徴と役割を理解し、目的などに応じた適切なデジタル化の方法を選択できる。 ○情報を効率的に伝達するために、適切な情報機器を活用し情報を統合化して、分かりやすく表現するための知識と技能を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報やメディアの意味について理解し、興味・関心を高める。 ・情報をアナログとデジタルで表現した場合のそれぞれの特徴を理解する。 ・さまざまな情報をデジタル化する技術について理解を深める。 ・情報機器の特徴を理解した上で、情報を表現するのに適した機器を選択し、分かりやすく表現する方法を習得する。 ＜デジタルスチルカメラ、デジタルビデオカメラ、コンピュータ、インターネットの接続環境、画像処理ソフトウェア、プレゼンテーションソフトウェア等＞

この章の評価	評価の観点及び内容		評価方法（具体例）
	情報の特徴に関心を持ち、情報機器を活用して多様な形態の情報を統合しようとするとともに、伝えたい内容を分かりやすく表現し、効率的に伝達しようとしている。＜関心・意欲・態度＞		授業態度 授業の記録（サブノートなど）
	デジタル化された情報や情報機器の種類と特性を踏まえて、目的に応じた適切な情報機器を判断し、情報を分かりやすく表現し、プレゼンテーションするための工夫している。＜思考・判断・表現＞		授業の記録（サブノートなど）
	情報機器を活用して多様な形態の情報をデジタル化するとともに、それらの情報を統合して分かりやすく表現し、効率的な情報伝達をすることができる。＜技能＞		実習の作品
	情報の特徴やメディアの意味を理解した上で、デジタル化された情報や情報機器の種類と特性をから、多様な情報を統合化できることを理解している。また、情報を分かりやすく表現する方法と評価の方法を理解している。＜知識・理解＞		ペーパーテスト
月	単元	学習のねらい	学習のポイント、使用教材等
7月 8月 9月 10月	3章 情報通信ネットワークとコミュニケーション 1節 コミュニケーション手段の発達 2節 情報通信ネットワークのしくみ 3節 情報通信ネットワークの活用とコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーション手段の歴史を理解する。 ○さまざまな通信サービスの特徴をコミュニケーションの形態と関連づけながら理解する。 ○情報通信ネットワークのしくみを理解するとともに、情報セキュリティを確保する方法を理解する。 ○目的や場面に応じて適切なコミュニケーション手段を選択し、効果的なコミュニケーションを行うために必要な知識と技能を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション手段の発達が社会に与えた影響について理解する。 ・さまざまな通信サービスの特徴を比較しながら、理解を深める。 ・ネットワークの技術や情報セキュリティを確保する方法について関心を持つようにする。 ・目的や場面に応じた適切なコミュニケーション手段の選択方法について学ぶ。 ＜コンピュータ、校内LAN及びインターネットの接続環境＞
この章の評価	評価の観点及び内容		評価方法（具体例）
	コミュニケーションや情報通信ネットワークのしくみ、情報通信の効率的な方法に関心を持つ。情報通信ネットワークを活用した、効果的なコミュニケーションを行おうとする。＜関心・意欲・態度＞		授業態度 授業の記録（サブノートなど）
	目的に応じたコミュニケーションを行うために、情報通信ネットワークを活用したコミュニケーションツールの活用方法や情報伝達の特性を考える。また、情報通信の効率向上やセキュリティ確保のための工夫をする。＜思考・判断・表現＞		授業の記録（サブノートなど）
	情報通信ネットワークの特性を踏まえ、コミュニケーションの目的や状況に応じた効果的なコミュニケーションツールを選択できる。＜技能＞		授業の記録（サブノートなど）
	コミュニケーション手段の発達と通信サービスの特徴を理解するとともに、情報通信ネットワークのしくみや特性、活用する際の方法やセキュリティを確保するための方法、情報通信の効果的な方法を理解している。＜知識・理解＞		ペーパーテスト
月	単元	学習のねらい	学習のポイント、使用教材等
11月 12月	4章 情報社会の課題と情報モラル 1節 情報化が社会に及ぼす影響と課題 2節 情報セキュリティの確保 3節 情報社会における法と個人の責任	<ul style="list-style-type: none"> ○情報化の進展による影響と課題を理解し、望ましい情報社会の実現には、情報技術の適切な活用が必要であることを理解する。 ○情報セキュリティを高めるための技術的対策や情報セキュリティポリシーの策定についての基礎的な知識と技能を身につける。 ○情報を保護する必要性と、そのための法制度、個人が担う責任などについて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報社会の光と影を踏まえたうえで、情報社会をよりよく生きるための方法について考える。 ・社会における情報セキュリティを高める方法や情報セキュリティポリシーの策定方法について学ぶ。 ・わたしたちに身の回りには、情報に関するさまざまな法や権利があることを押さえる。 ＜コンピュータ、校内LAN及びインターネットの接続環境、図書館＞

	評価の観点及び内容	評価方法（具体例）
この章の評価	情報の公開・保護と個人の責任や関係法令等について関心を持ち、情報社会に参画する態度を身につけようとしている。＜関心・意欲・態度＞	ペーパーテスト 授業態度
	情報の収集・発信に伴う問題、情報の保護と個人の責任について考え、情報を収集・発信する際にはそれらを踏まえて適切な判断ができる。＜思考・判断・表現＞	実習の作品
	情報に関連する法を遵守しや個人の責任を踏まえた上で、健康を損なうことなく適切に情報を活用することができる。また、情報セキュリティを高めるための対策について考えることができる。＜技能＞	授業の記録（サブノートなど）
	情報化が社会に及ぼす影響と課題、情報セキュリティを高めるためのさまざまな方法、情報の公開・保護と個人の責任や関係法令等について理解している。＜知識・理解＞	ペーパーテスト

月	単元	学習のねらい	学習のポイント、使用教材等
1月 2月 3月	5章 望ましい情報社会の構築 1節 社会における情報システム 2節 情報システムと人間 3節 情報社会における問題の解決	<ul style="list-style-type: none"> ○情報システムの種類や特徴を理解し、それらがわたしたちの生活に果たしている役割と影響を理解する。 ○人間にとって利用しやすい情報システムとはどのようなもので、どうあるべきか考える。 ○情報通信ネットワークを活用して、意見を提案し集約するための方法を考える。 ○情報機器や情報通信ネットワーク活用して問題を解決するための方法を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報システムが生活に活用されていることを学ぶようにする。 ・情報社会の便利な面だけでなくさまざまな問題もあることを知る。 ・情報社会が生活を豊かにすることを学ぶ。 ・情報通信ネットワークを活用した意見の提案や集約について学ぶ。 ・情報社会における問題解決の方法について学ぶ。 ＜インターネットの接続環境＞

	評価の観点及び内容	評価方法（具体例）
この章の評価	社会を支えるさまざまな情報システム及び情報化が社会に及ぼす影響について関心を持ち、社会に参画する態度を持つ。情報機器や情報通信ネットワークを活用して問題を解決しようとしている。＜関心・意欲・態度＞	授業態度 授業の記録（サブノートなど）
	社会で利用されている情報システムや情報化が社会に及ぼす影響について思考を深め、望ましい情報社会のあり方を判断できる。身の回りの問題を解決するために使用する情報通信ネットワークを適切に判断できる。＜思考・判断・表現＞	授業の記録（サブノートなど）
	情報通信ネットワークを活用した意見の収集や提案、問題の解決をすることができる。＜技能＞	実習の作品
	社会を支えるさまざまな情報システムの種類と特性、人間にとって利用しやすい情報システムの在り方を理解するとともに、情報化が社会に及ぼす影響について理解している。また、問題解決の基本的な流れを理解している。＜知識・理解＞	ペーパーテスト